

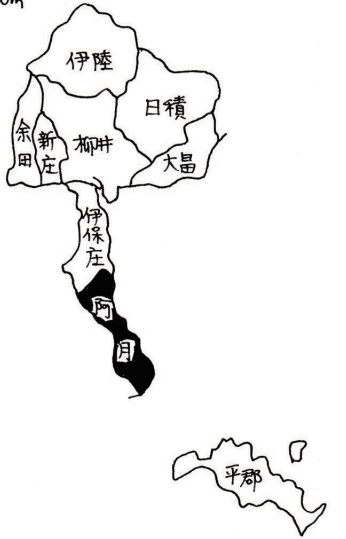
柳井お宝マップ

阿月地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5 修正

0 500 1000m



無動寺(真言宗)

琳聖太子の開基と伝え、大内氏所縁の寺として鎌倉・室町時代に栄えた。旧暦1月27.28日には不動縁日がある。本尊・不動明王坐像は鎌倉時代の作と伝えられ、具有文化財に指定されている。また、銅製鑄鏡は室町時代後期の作で、市文化財に指定されている。無動寺樹林は1985(昭和60)年に県自然記念物に指定され、スダジイ、アノキ、ホトトギス、ナツキ、ヒメスズリハ、イロハモミジなど多くの木がある。



伊保庄



宇積沃塩田跡
1736(元文元)年、阿月領主浦氏が開墾したもの。災害のため中絶していたが、秋良貞温(教之助)の資金調達により1831(天保2)年再興した。1900~1911(明治33~44)年に廃止され、跡地には1970(昭和45)年に造船会社が進出した。



湯原

かつて湯原は相当栄え、「湯原千軒」の呼称が残る。牛と大車にしていた百姓が牛を湯に入ると、それ以後湯原はどこと振っても湯は出なかったという伝説がある。

与浦遺跡

伊保庄の黒島遺跡とともに、海底縄文遺跡として知られている。1971(昭和46)年に発見され、土器片、石器類が採集された。この地域における縄文人集団の生業を示唆するとともに、地盤変動の解明にも重要な資料を提供するものとして注目されている。



相の浦買茂神社

1353(文和2)年創建。玉依姫命ほか5の神をまつ。祭日は9月6・7日で、6日に湯立を、7日に供物を供える。一帯はスダジイの群生で、モッコク、フコギネモチなどの木がある。



旧相浦小学校

1988(昭和63)年に旧阿月小学校へ統合。1995(平成7)年に映画「さけぬけだつみの鳥」のロケ地となった。



報恩寺(浄土真宗)

前身は円勝寺相浦庵。1885(明治18)年、祝島の廃寺と伝えられる寺号をもち、建立美しい庭あり。三界万霊地蔵。



皇座山

大空家のイノキバヤシ。高さ約6m、目通り幹囲200cmの巨木。県道からもよく見える。花は3月初旬。



宝照庵

平家の一族門脇伊賀之助教長が建立したものであるとの伝承がある。同陽八十八ヶ所 第十四番札所になっている。



池浦神社(平家神社)

祭神は安徳天皇。1726(享保11)年社殿を建立。1871(明治4)年までは平家大明神と称していた。平家の軍船がひそんでいた池が荒れ地に、主領浦元敏が領民に耕作させたが五穀が実らず、種々の怪異が起ったので、怨霊のしわざと考へ、地中に埋もれた刀剣、矢じりなどを掘り出し、それと御神体としてまつ。平家大明神と称した。その後は怪異もやみ、五穀も実るようになったといわれている。



池田家 連理カエデ跡

池田家は平家神社の守護役。平家一門である相の浦の門脇家と縁のある家柄で、高い石垣が屋敷の周囲をとり囲んでいる。庭には連理カエデがあり、全国でもまれにみる巨樹で、県天然記念物だったが、平成になつて枯れた。



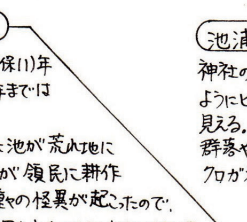
平家坂

池の浦合戦で敗れた平家の将兵が急斜面をよじ登り、大津方面に逃げのびたといわれている。



池浦神社社叢

神社の屋根を覆いかぶさるようにヒメスズリハ群生が見える。また、アブノキの群生やスダジイ、タナノキ、フコギネモチなどが群生している。



池の浦道路公園

池の浦合戦の碑がある。初日の出が見られる。



皇座山

526.3m 一等三角点あり。

池の浦

一帯は、屋島の合戦に敗れた平家の軍勢の一部がたてこもり、激しく戦ったといわれる古戦場。

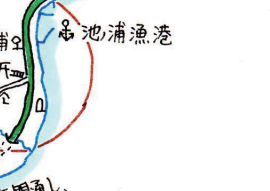


上関町

1998(平成10)年開通し、宮津半島が一周できるようになった。

池浦漁港

池浦漁港



阿月地区をとも知りたいた時は、以下の文献をごらん下さい。
『ほくくわのふるさと 阿月めぐり』 柳井市立阿月小学校、2003年
『柳井の維新史』 柳井市史編纂委員会、1970年
『柳井図書館蔵書第九集 中世の柳井について』 柳井市立柳井図書館、2004年
『悲運の第三奇兵隊総管 赤松武人』 角井菊雄、2000年
「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳第79号)」